

V 質問応答記録書作成事例集

目 次

<u>質問応答記録書作成事例集の利用に当たって</u> ・・・・・・・・・・	V- 3
<u>1 収入・売上げの除外に関するもの</u>	
(1) 所得税の事例・・・・・・・・・・	V- 5
(2) 法人税の事例・・・・・・・・・・	V- 15
<u>2 売上原価・経費に関するもの（例：法人税）</u>	
(1) 架空外注費に関する事例・・・・・・・・・・	V- 33
(2) 架空人件費に関する事例・・・・・・・・・・	V- 51
(3) 水増し仕入れに関する事例・・・・・・・・・・	V- 67
(4) 棚卸除外に関する事例・・・・・・・・・・	V- 85
<u>3 財産の帰属に関するもの（相続税）</u>	
(1) 相続人名義の預金口座の帰属に関する事例・・・・・・・・・・	V- 97
(2) 相続財産の一部除外に関する事例・・・・・・・・・・	V-111
<u>4 所得の帰属に関する事例（例：所得税）</u> ・・・・・・・・・・	V-129
<u>5 無申告に関する事例（例：所得税）</u> ・・・・・・・・・・	V-147
<u>6 消費税に関するもの</u>	
帳簿書類等の保存義務に関する事例・・・・・・・・・・	V-155
<u>7 その他</u>	
(1) 契印（割印）・確認印の押印方法・・・・・・・・・・	V-165
(2) 調査報告書（作成・訂正例等）・・・・・・・・・・	V-167

～ 質問応答記録書作成事例集の利用に当たって ～

☆ 本作成事例集の利用に当たっては、以下の点に留意してください。

- ・ 掲載している文例には、多数の解説（注釈）を付すとともに参照すべき「重要事項」、「FAQ」及び「奥書・その他」を記載しています。

解説（注釈）内容の理解を深めるため、利用に当たっては、適宜、これらを参照してください。

- ・ 掲載している文例については、いずれも調査において課税処分を行う上で必要と思われる要素を盛り込んだ内容となっていますが、飽くまで架空の事案に関する文例であり、実際の調査事案等とは前提が異なります。また、できるだけ汎用性のあるものとするという目的に鑑み、必要と思われる事項を網羅した手厚いものとしていますので、事案によってポイントを絞った内容とする、複数の質問応答記録書に分けて作成することも検討する必要があります。

したがって、質問応答記録書の作成に当たっては、掲載している文例をそのまま引用することはせずに、事案に応じた質問応答記録書を作成する必要があることに留意してください。

- ・ 本作成事例集では、各事例について所得税、相続税、法人税及び消費税のいずれかの調査事例として作成していますが、いずれの事例であっても、質問の仕方（質問の展開の仕方）、質問応答記録書への記載の方法、付している解説（注釈）の内容などは各税目に共通する内容となっています。

可能な限り、自己が担当する税目以外の事例についても、自己研さんの糧としてください。

- ・ 掲載している各文例の質問応答記録書及び調査報告書の様式は、解説（注釈）の内容を充実させるため、確認印欄や契印（割印）を省略するとともに行数や幅などにも加工を加えており、実際の様式とは異なる部分があることに留意してください。

質問応答記録書

回答者 住	所	〇〇市××区・・・・
氏	名	甲 野 太 郎
生年月日、年齢 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)		
本職は、平成28年10月31日、△△市△△区・・・・の「凹凸陶芸教室」の		
事業所において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。		
質 問 応 答 の 要 旨		
問 1	あなたの職業を教えてください。➤❶	
答 1	私は、凹凸陶芸教室を主宰し、代表者をしています。	
	なお、凹凸陶芸教室は法人ではなく、私が個人として経営しています。	
問 2		
答 2		
問 3		
答 3		
問 4		
答 4		

❶ 質問応答の前提として、回答者の業務内容、個人事業主であることを明らかにしている (答1)。

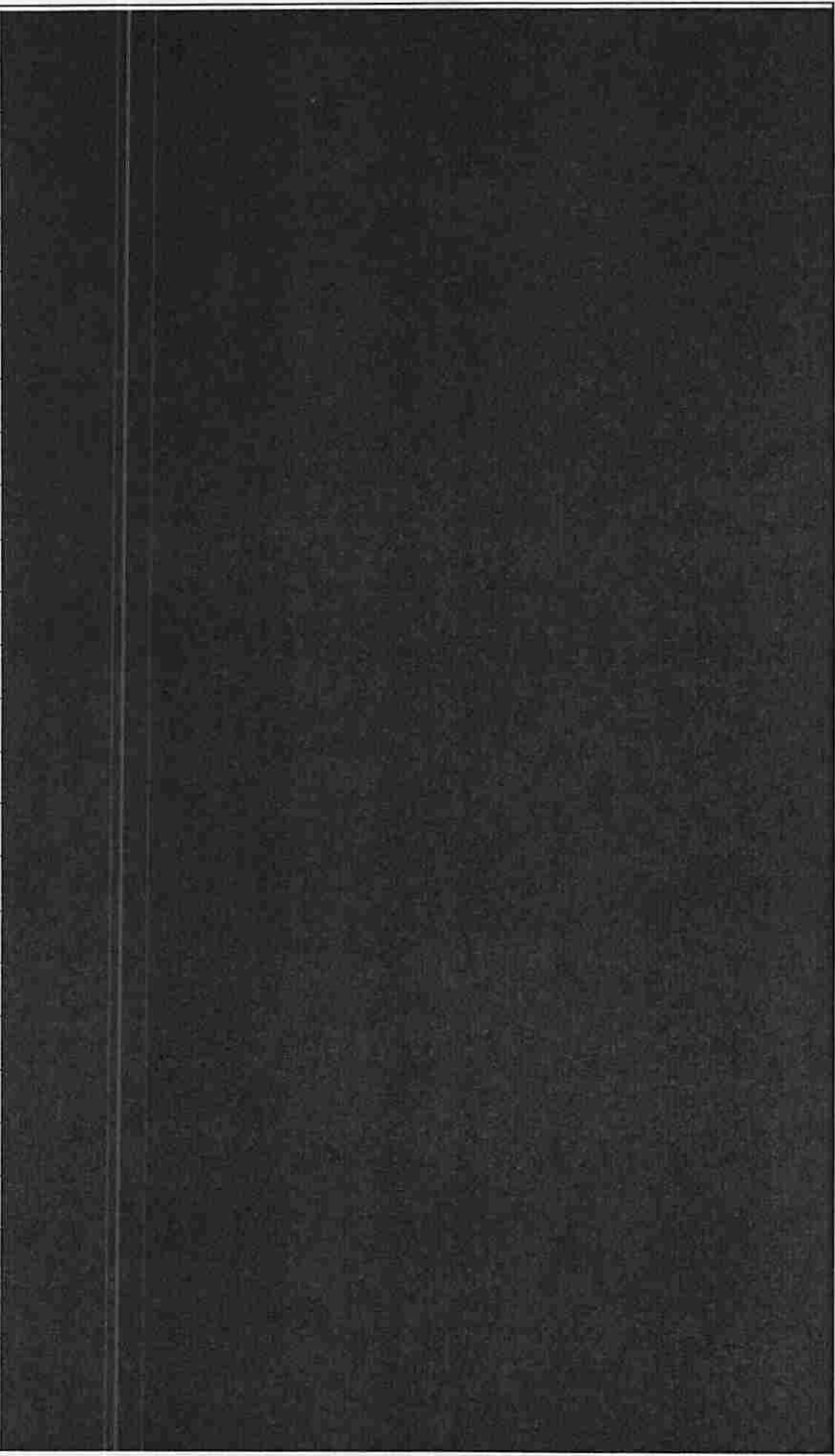

なお、回答者の住所、氏名、生年月日、年齢は、質問応答記録書冒頭に記載されているため、本文に重ねて記載する必要はない。【FAQ問9参照】



❷

❸

❹

(9) 枚のうち (2) 枚目

		
問 5		
答 5		
問 6		
答 6		
問 7		
答 7		



(9) 枚のうち (3) 枚目

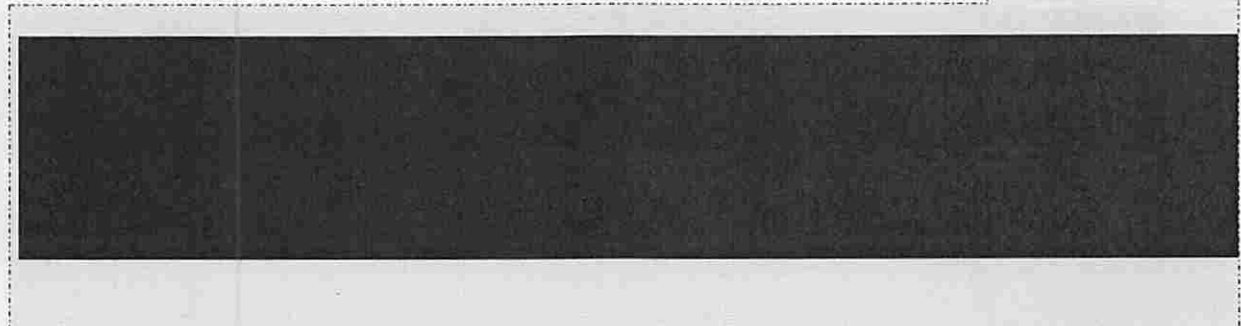
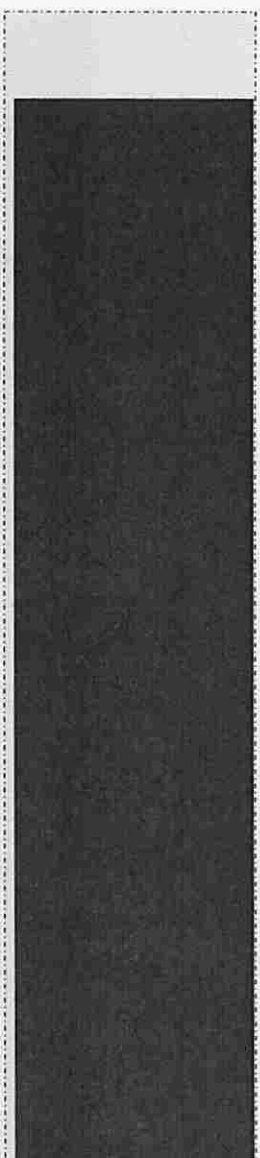
問 8	
答 8	
問 9	
答 9	
問 10	
答 10	
問 11	

(9) 枚のうち (4) 枚目

答 11			
問 12			
答 12			
問 13			
答 13			
問 14			
答 14			
問 15			

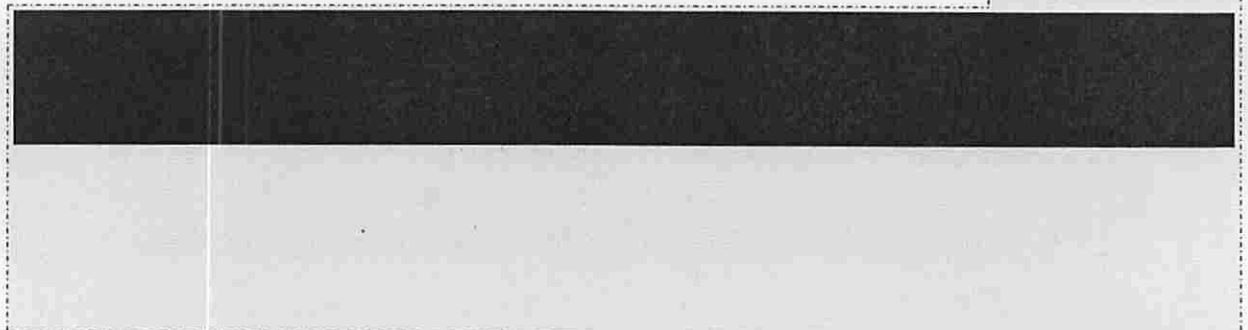
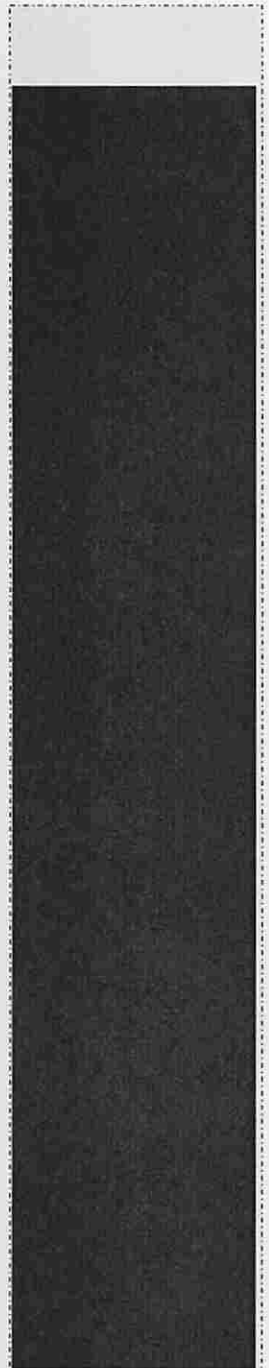
(9) 枚のうち (5) 枚目

答 15	
問 16	
答 16	
問 17	
答 17	
問 18	
答 18	
問 19	
答 19	

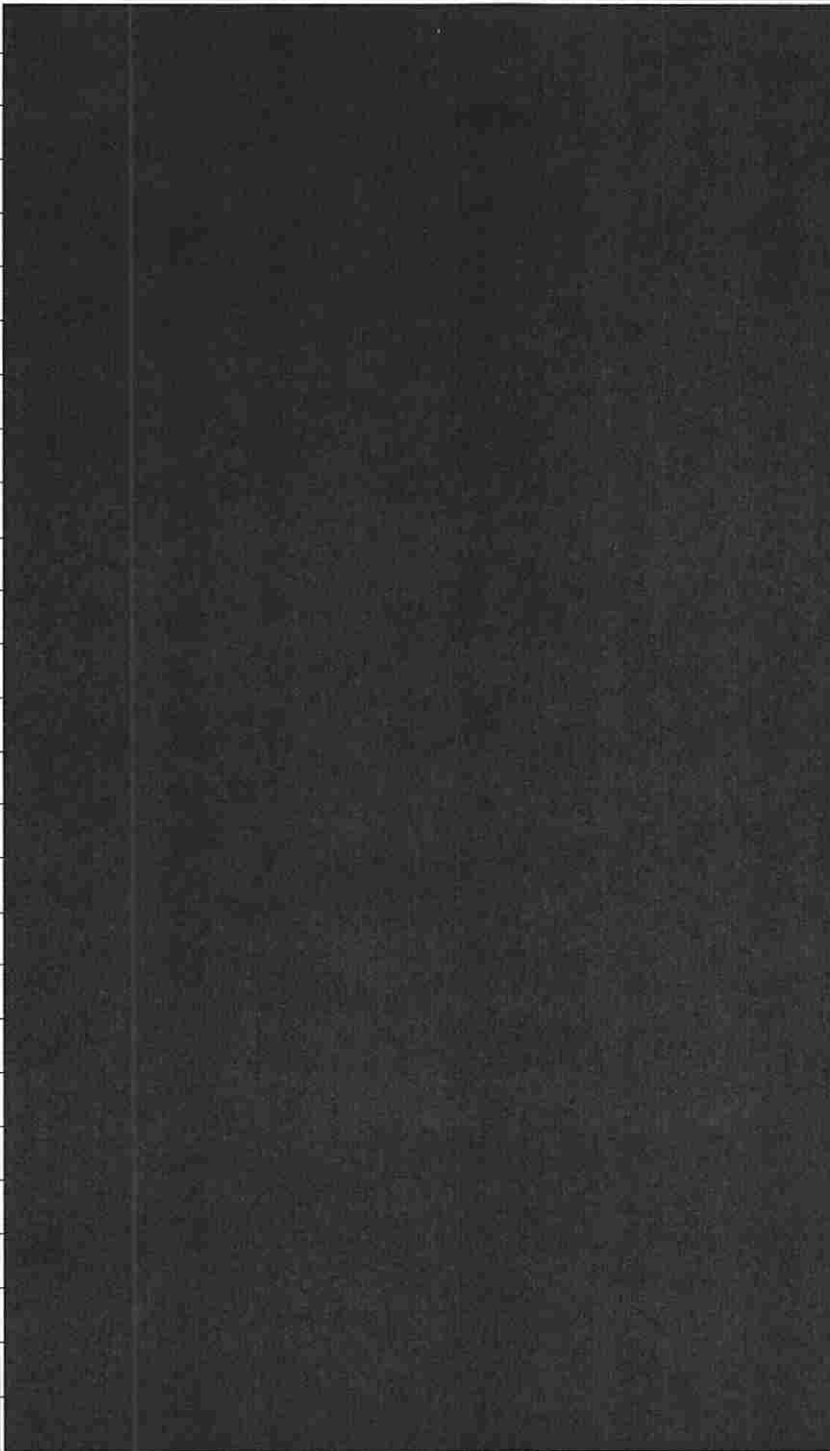


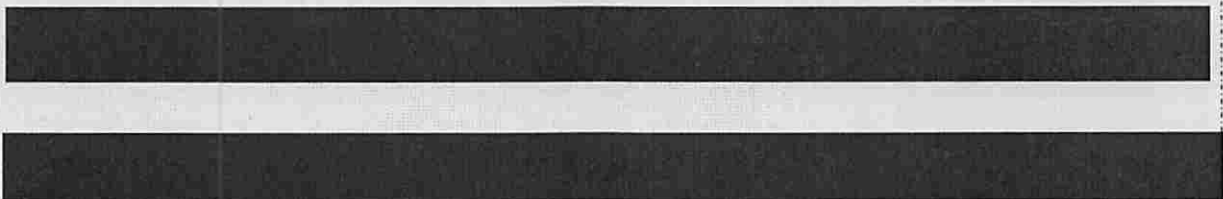
(9) 枚のうち (6) 枚目

問 20	
答 20	
問 21	
答 21	
問 22	
答 22	



(9) 枚のうち (7) 枚目

問 23	
答 23	
問 24	
答 24	
問 25	
答 25	
問 26	
答 26	
問 27	
答 27	
問 28	
答 28	



(9) 枚のうち (8) 枚目

問 29		
答 29		
問 30		
答 30		
問 31		
答 31		
問 32		
答 32		

(9) 枚のうち (9) 枚目

問 33	
答 33	
問 34	
答 34	
問 35	以上で質問を終わりますが、何か訂正したいこと又は付け加えたいことはありますか。
答 35	
	他に訂正や追加はありません。➤③
	(回答者) 甲野 太郎 印
	以上のとおり、質問応答の要旨を記録して、回答者に対し読み上げ、かつ、
	閲読させたところ、回答者は誤りのないことを確認し、署名・押印した上、
	各頁に確認印を押印した。
	平成28年10月31日
	(質問者) ○○税務署 財務事務官 ■■ ■■
	(記録者) ○○税務署 財務事務官 ▲▲ ▲▲

①

②

③ 末尾問答は、回答者に対し、質問応答記録書の読み上げ・閲読の前にも、それまでの答述を訂正等する機会を与えた事実を担保することとなり、信用性確保の観点から有用である。【FAQ問17参照】

質問応答記録書

回答者 住 所 ●●県□□市・・・・

氏 名 甲 原 一 郎

生年月日、年齢 昭和34年★月●●日生 (●●歳)

本職は、平成28年10月6日、●●県□□市・・・・所在の日本料理「X」本店において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。

質問応答の要旨

問1 あなたの職業を教えてください。➤①

答1 私は、平成10年3月から現在に至るまで、●●県□□市にある「株式会社X」の代表取締役をしています。

問2

答2

問3

答3

問4

答4

① 回答者の住所、氏名、生年月日、年齢は、質問応答記録書冒頭に記載されているため、本文に重ねて記載する必要はない。

【FAQ
問9参照】

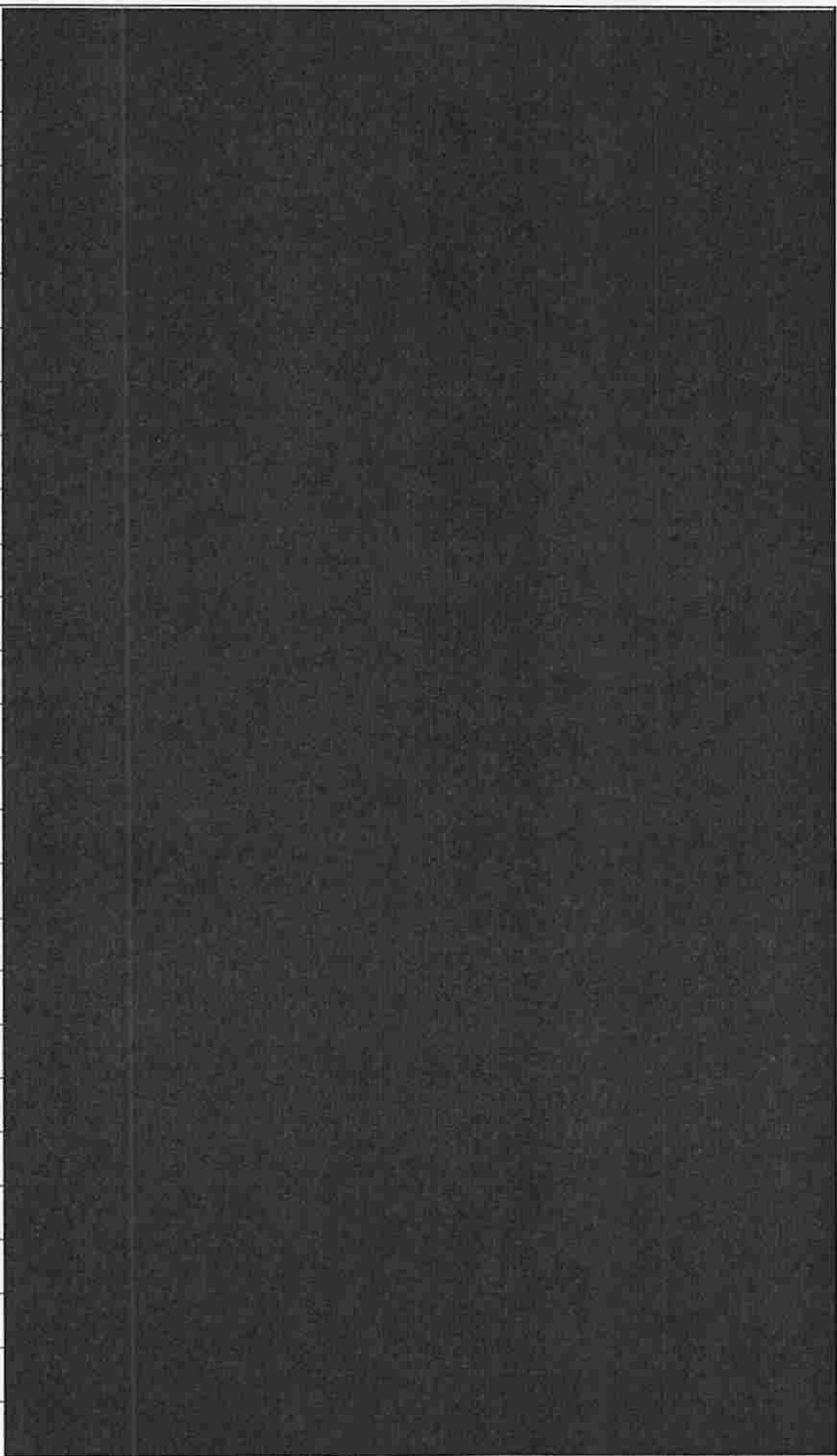



②

③

(6) 枚のうち (2) 枚目

[illegible]

(6) 枚のうち (3) 枚目

		  
問 7		
答 7		

(6) 枚のうち (4) 枚目

問 8			
答 8			
問 9			
答 9			
問 10			
答 10			
問 11			

(6) 枚のうち (5) 枚目

答 11		
問 12		
答 12		
問 13		
答 13		
問 14		
答 14		
問 15		
答 15		

(6) 枚のうち (6) 枚目

[illegible]

1

② 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】

質問応答記録書

回答者 住 所 ●●県□□市・・・・

氏 名 甲 原 一 郎

生年月日、年齢 昭和34年★月●●日生 (●●歳)

本職は、平成28年10月7日、●●県□□市・・・・所在の日本料理「X」本店において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。

質問応答の要旨

問1

答1

問2

答2

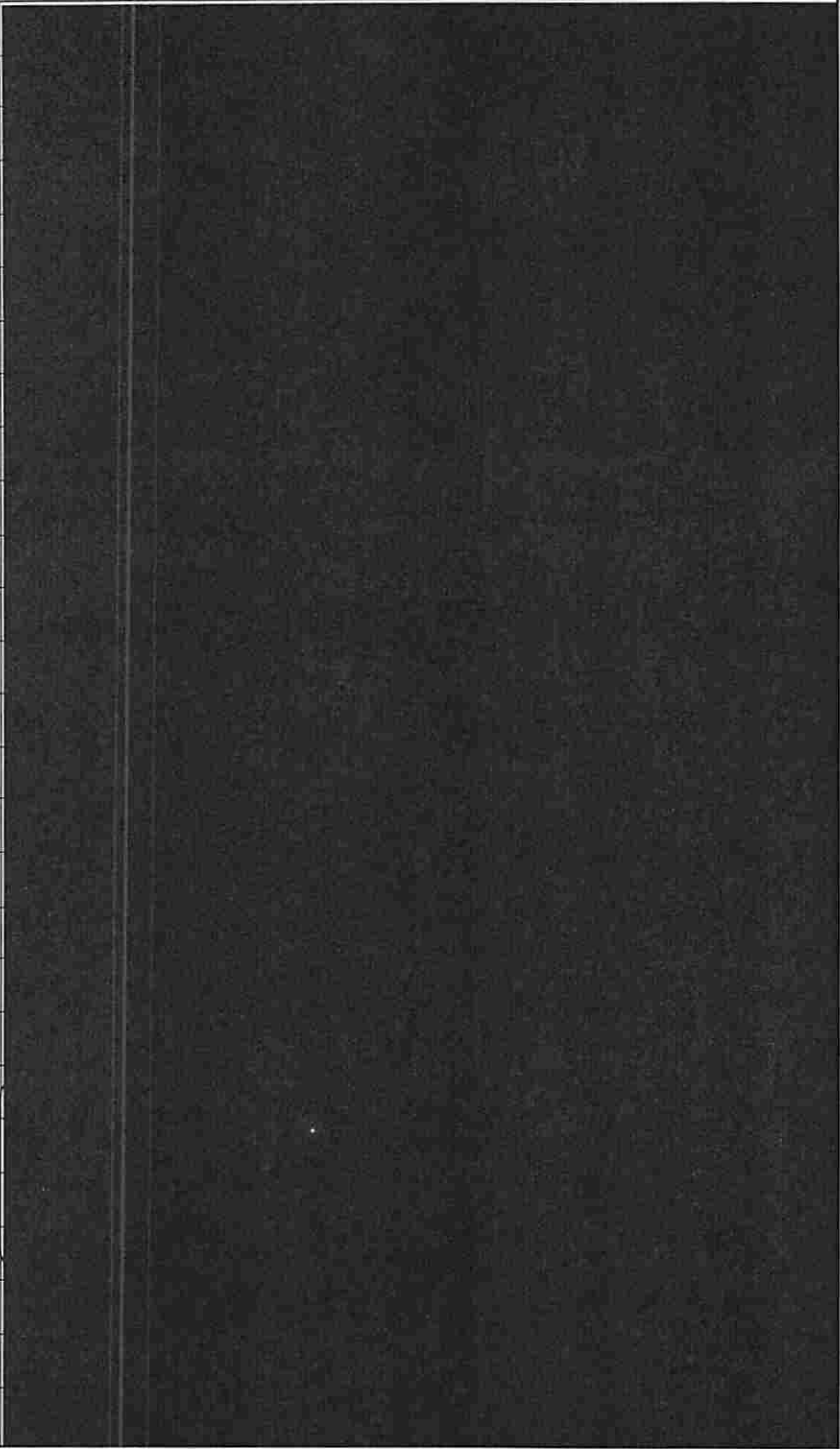

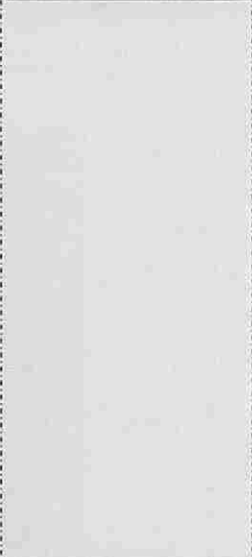



問3

答3

問4

答4

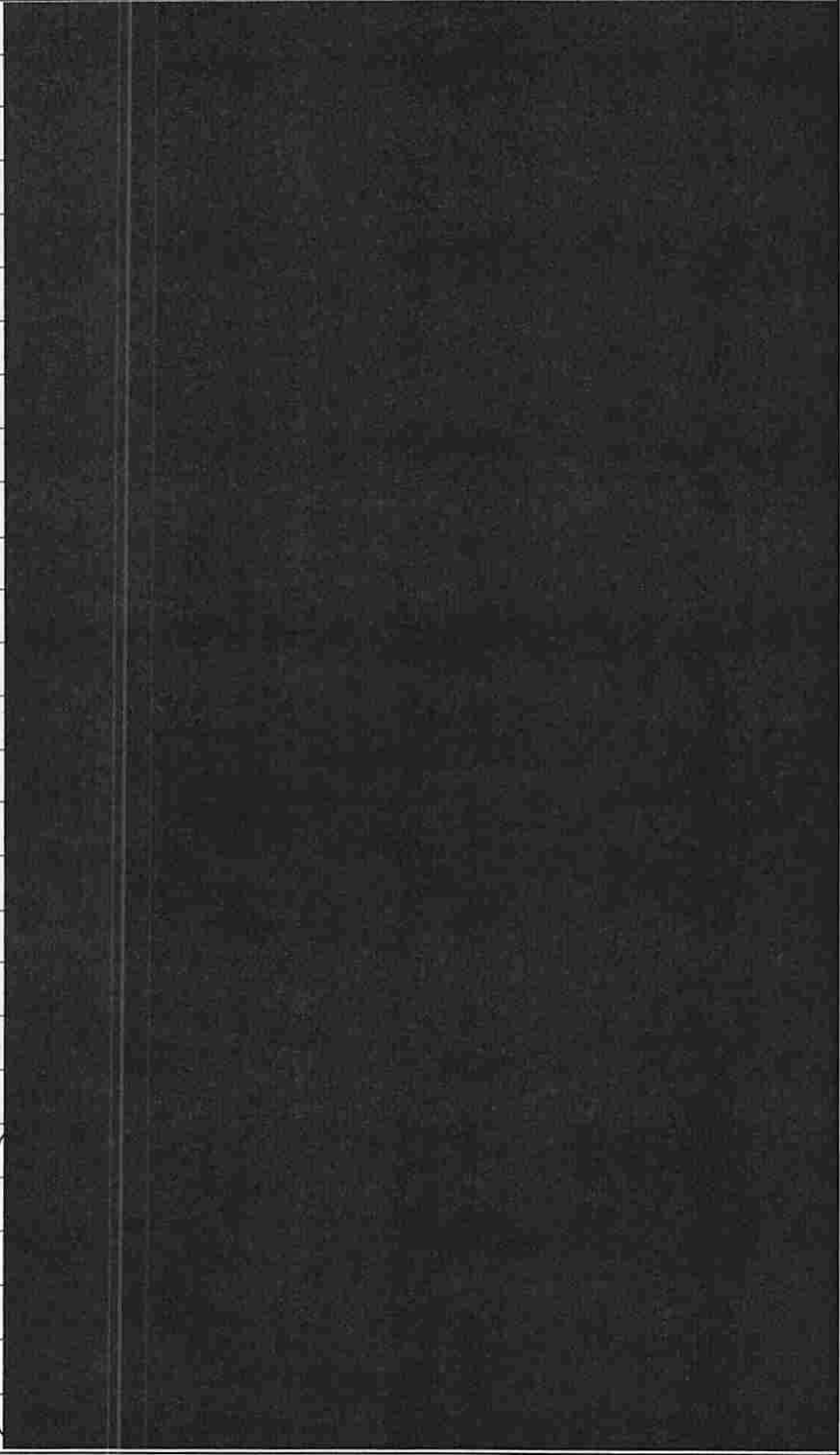
(8) 枚のうち (2) 枚目



		    
問 5		
答 5		
問 6		
答 6		

(8) 枚のうち (3) 枚目

[illegible]

(8) 枚のうち (4) 枚目

	
問 9	
答 9	
問 10	
答 10	
問 11	

(8) 枚のうち (5) 枚目

答 11		
問 12		
答 12		
問 13		
答 13		
問 14		
答 14		

[illegible]

(8) 枚のうち (7) 枚目

[illegible]

(8) 枚のうち (8) 枚目

問 17	
答 17	
問 18	以上で質問を終わりますが、何か訂正したいことや付け加えたいことはあ りませんか。
答 18	訂正したいことはありません。
	(回答者) 甲原 一郎 印
	以上のとおり、質問応答の要旨を記録して、回答者に対し読み上げ、かつ、 閲読させたところ、回答者は誤りのないことを確認し、署名・押印した上、 各頁に確認印を押印した。➤④
	平成28年10月7日
	(質問者) ○○税務署 財務事務官 ■■ ■■
	(記録者) ○○税務署 財務事務官 ▲▲ ▲▲

①

②

③

④ 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】

質問応答記録書

回答者 住 所 ●●県□□市・・・・

氏 名 甲 原 二 子

生年月日、年齢 昭和59年@月●●日生 (●●歳)

本職は、平成28年10月11日、●●県□□市・・・・所在の甲原二子方において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。

質問応答の要旨

1 > ①

2 > ①

3 > ①

① 物語形式の場合には、項目ごとに項数を付することで、わかりやすくなる。
【FAQ問11参照】

②

③

④

⑤

(4) 枚のうち (2) 枚目

This image shows a blank ledger page. On the left side, there is a vertical column of 20 small squares, likely for recording data. The rest of the page is a large rectangular area for notes or descriptions. The page is otherwise blank.

[illegible]

(4) 枚のうち (4) 枚目

[illegible]

①

② 末尾問答は、回答者に対し、質問回答記録書の読み上げ・閲読の前にも、それまでの答述を訂正等する機会を与えた事実を担保することとなり、信用性確保の観点から有用である。【FAQ 問17参照】

③ 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】

(9) 枚のうち (1) 枚目

質問応答記録書

質問応答記録書	
回答者 住	所 ●●県□□市・・・・
氏	名 甲 澤 一 郎
生年月日、年齢 昭和34年★月●●日生 (●●歳)	
本職は、平成28年10月5日、●●県□□市・・・・所在の株式会社X建設事務所において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。	
質問応答の要旨	
問1	あなたの職業を教えてください。➤①
答1	私は、建設業を営んでいる株式会社X建設の代表取締役として、株式会社X建設を経営しています。➤①②
問2	
答2	

① 回答者の住所、氏名、生年月日、年齢は、質問応答記録書冒頭に記載されているため、本文に重ねて記載する必要はない。

【FAQ問9参照】

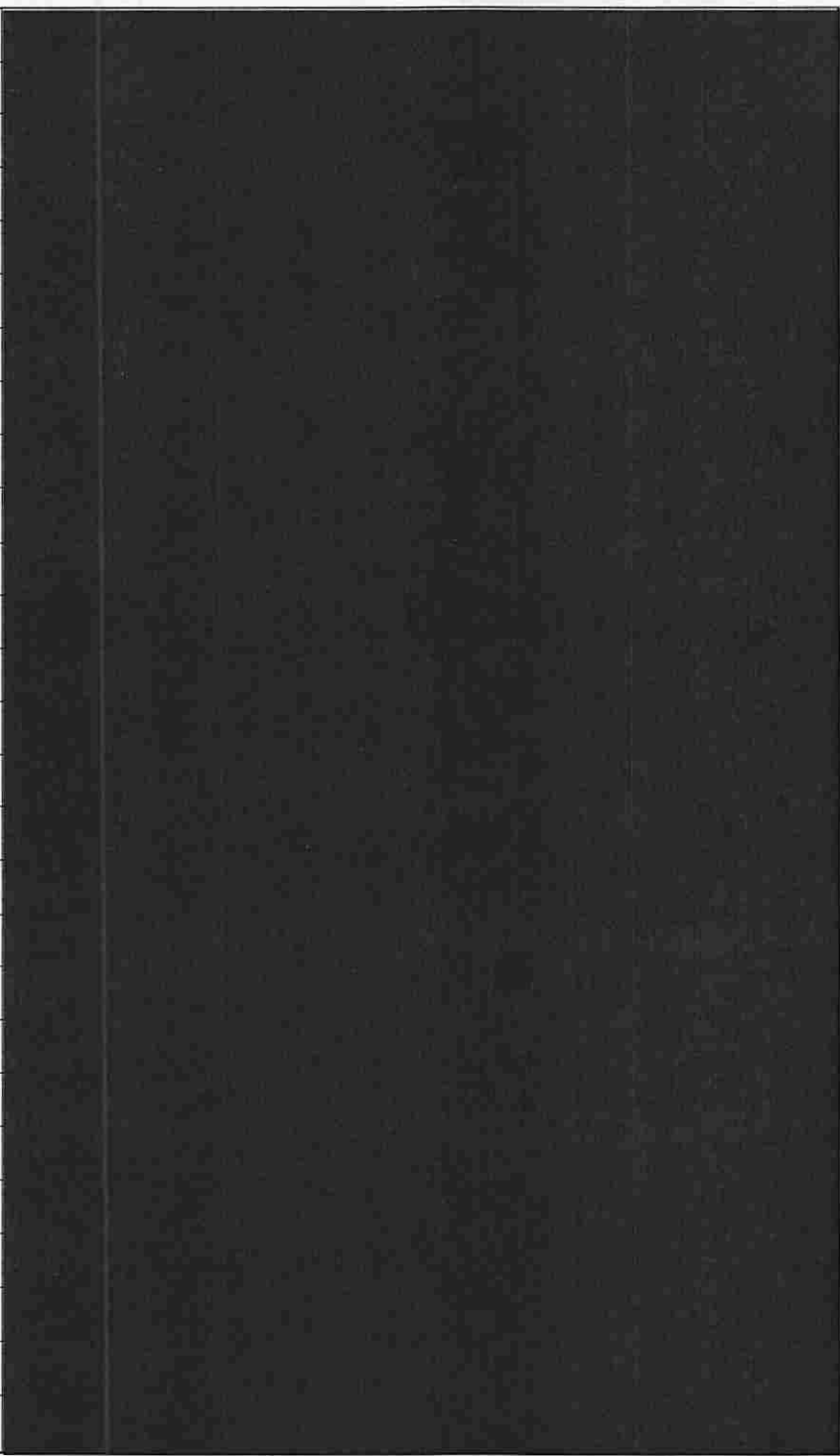

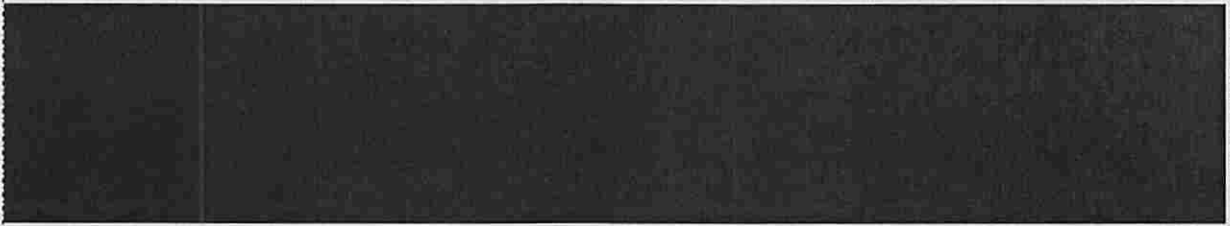
2

3	
4	
5	

(9) 枚のうち (2) 枚目



[illegible]



(9) 枚のうち (3) 枚目

		
問 5		
答 5		
問 6		
答 6		
		

[illegible][illegible]

(9) 枚のうち (5) 枚目

		
問 7		
答 7		
問 8		



(9) 枚のうち (6) 枚目

[illegible]

[illegible]

(9) 枚のうち (8) 枚目

問 9	
答 9	
問 10	以上で質問を終わりますが、何か訂正したいこと、付け加えたいことはあ
	りますか。
答 10	訂正したいことはありません。
	(回答者) 甲原 一郎 印>㊦

①

②

㊦ 質問応答記録書本文の記載が頁の最終行で終わった場合、次頁の冒頭から奥書を記載する。【奥書・その他 1 (2) 参照】

(9) 枚のうち (9) 枚目

[illegible]

① 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】

質問応答記録書

回答者 住	所 ●●県□□市・・・・
氏	名 乙 山 次 郎
生年月日、年齢	昭和36年★月●●日生 (●●歳)
本職は、平成28年10月6日、●●県□□市・・・・所在の株式会社Y企画事務所において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。	
質 問 応 答 の 要 旨	
問 1	あなたの職業を教えてください。➤①
答 1	私は、平成10年に、各種イベントの企画、運営などを請け負う株式会社Y企画を立ち上げ、現在に至るまで代表取締役社長として、株式会社Y企画を運営しています。➤①②
問 2	
答 2	
問 3	

① 回答者の住所、氏名、生年月日、年齢は、質問応答記録書冒頭に記載されているため、本文に重ねて記載する必要はない。



【F

A Q問9参照]

②

③

④

(8) 枚のうち (2) 枚目

答 3			
問 4			
答 4			
問 5			
答 5			
問 6			
答 6			

[illegible]

(8) 枚のうち (4) 枚目

[illegible]

(8) 枚のうち (5) 枚目

[illegible]

(8) 枚のうち (6) 枚目

[illegible]

(8) 枚のうち (7) 枚目

問 10	
答 10	
問 11	以上で質問を終わりますが、何か訂正したり、付け加えたりすることはあ りますか。
答 11	訂正したいことはありません。
	(回答者) 乙山 次郎 印
	印
	3

③ 回答者の署名・押印した行以降を余白として、奥書を次頁に記載している。【奥書・その他1(8)参照】

(8) 枚のうち (8) 枚目

[illegible]

① 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】

質問応答記録書

回答者 住 所 ○○県★★市・・・・

氏 名 甲 川 一 子

生年月日、年齢 昭和33年★月●●日生 (○○歳)

本職は、平成28年11月7日、○○県★★市・・・・所在の株式会社A創業事務所において、上記の回答者から、任意に次のとおり回答を得た。

質問応答の要旨

1 > ① 私は、調理用手袋などの衛生関連商品の製造・販売を行う株式会社A創業の代表取締役社長を平成17年2月から現在まで務めています。 > ②

2 > ①

① 物語形式の場合には、項目ごとに項数を付することで、わかりやすくなる。
【FAQ問11参照】

② 回答者の住所、氏名、生年月日、年齢は、質問応答記録書冒頭に記載されているため、本文に重ねて記載する必要はない。

【FAQ問9参照】

③

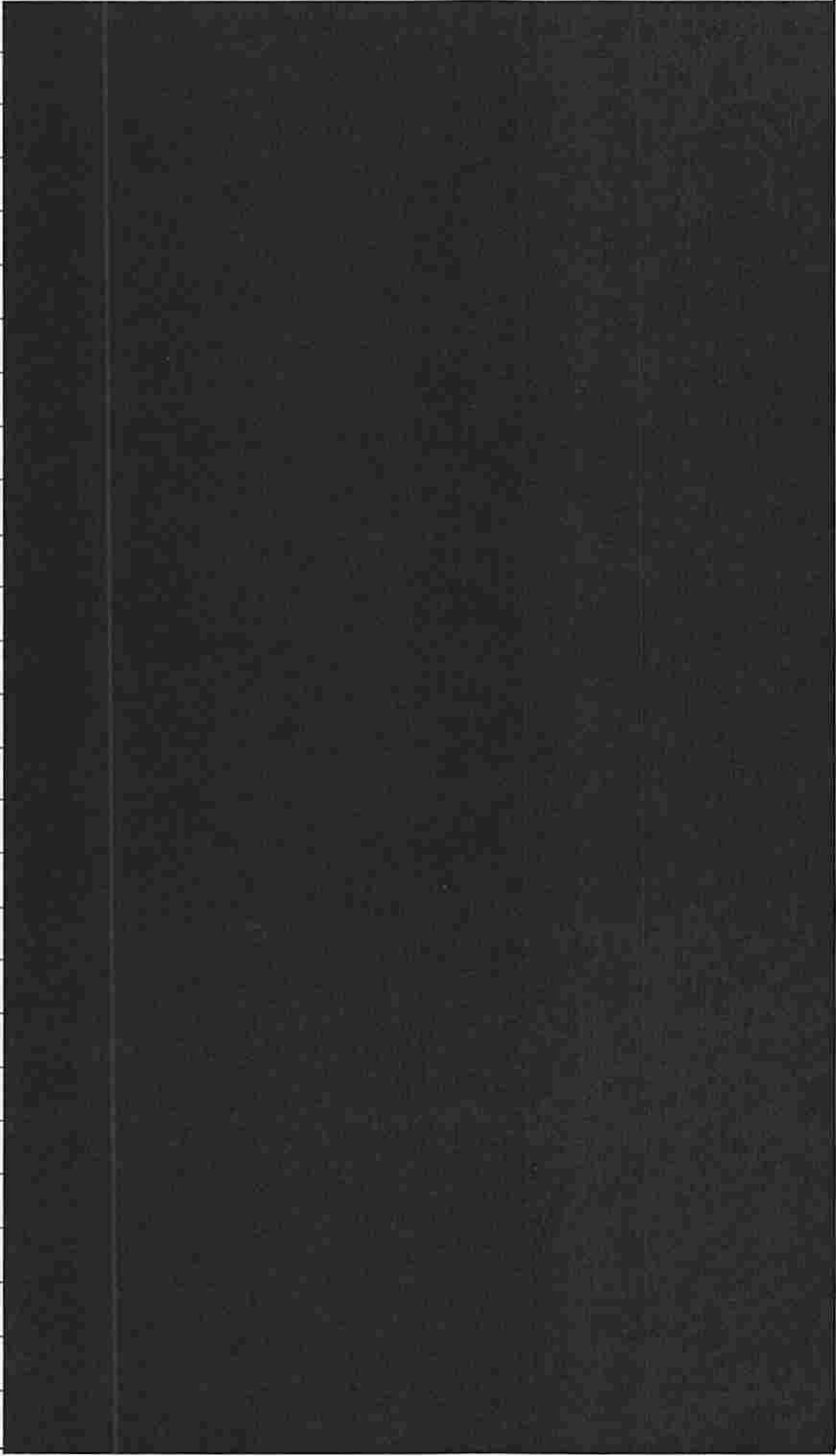
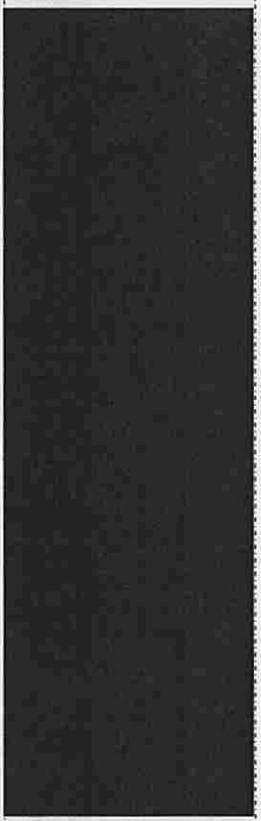
④

⑤

⑥

[illegible]

(6) 枚のうち (3) 枚目

4		

[illegible]

[illegible]

(6) 枚のうち (6) 枚目

6	
7	
問	以上で質問を終わりますが、何か訂正したいこと又は付け加えたいことはありますか。➤④
答	いいえ、ありません。➤④
	(回答者) 甲川 一子 印
	以上のとおり、質問応答の要旨を記録して、回答者に対し読み上げ、かつ、
	閲読させたところ、回答者は誤りのないことを確認し、署名・押印した上、
	各頁に確認印を押印した。➤⑤
	平成28年11月7日
	(質問者) ○○税務署 財務事務官 ■■ ■■
	(記録者) ○○税務署 財務事務官 ▲▲ ▲▲

①

②

③

④ 末尾問答は、回答者に対し、質問応答記録書の読み上げ・閲読の前にも、それまでの答述を訂正等する機会を与えた事実を担保することとなり、信用性確保の観点から有用である。【FAQ問17参照】

⑤ 回答者に質問応答記録書の内容を確認させる場合、質問応答記録書の信用性を高めるため、特別な事情がある場合を除き、読み上げるだけでなく、閲読もさせる必要がある。【FAQ問18、奥書・その他1(1)参照】